

東日本大震災復興特別会計 平成30年度特別会計財務書類の概要

貸借対照表

(単位:十億円)

	前年度	30年度	増減		前年度	30年度	増減
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
現金・預金	736	664	△71	未払金	3	3	△0
未収金	0	0	0	未払費用	1	0	△0
前払金	57	71	14	保管金等	0	0	0
貸付金	35	34	△0	前受金	-	0	0
その他債権等	2	2	0	賞与引当金	0	0	△0
貸倒引当金等	△0	△0	0	公債	5,526	5,388	△138
有形固定資産	85	46	△38	退職給付引当金	3	3	△0
国有財産(公共用財産除く)	0	0	0	その他の債務等	0	-	△0
公共用財産	68	36	△32				
物品	17	10	△7				
無形固定資産	0	0	△0	負債合計	5,536	5,397	△138
出資金	747	769	22	< 資産・負債差額の部 >			
国債整理基金	1,675	1,714	39	資産・負債差額	△2,195	△2,091	104
資産合計	3,340	3,305	△34	負債及び資産・負債差額合計	3,340	3,305	△34

主な科目の内訳

(カッコ内は前年度からの増減額)

(貸借対照表)

・国有財産(公共用財産除く)	3億円(1億円)
建設仮勘定	3億円(1億円)
・公共用財産	360億円(△320億円)
建設仮勘定	360億円(△320億円)
・貸付金	349億円(△5億円)
災害援護資金貸付金	128億円(△6億円)
(独)日本学生支援機構	220億円(+0億円)

主な増減内容等

1. 貸借対照表

(資産)

現金・預金	△715億円
前払金	+140億円
有形固定資産…公共用財産減等	△389億円
出資金…(株)日本政策金融公庫等	+223億円
国債整理基金…有価証券の増	+392億円

(負債)

公債…復興債の償還	△1,382億円
-----------	----------

2. 業務費用計算書

補助金等…支出の減	△1,907億円
委託費等…支出の減	△29億円
交付税及び譲与税配付金特別会計への繰入	+708億円
庁費等…支出の減	△1,603億円
公債事務取扱費	△99億円

3. 資産・負債差額増減計算書

平成30年度業務費用合計と財源合計との差額(財源超過)

3,722億円

(左記(A)+(B)により算出)

⇒企業会計の「当期純利益」に相当

4. 区分別収支計算書

財源…前年度剰余金受入の減等	△3,144億円
業務支出…補助金等支出の減等	+3,259億円
財務収支…公債発行による収入の減等	△832億円

東日本大震災復興特別会計の業務等の概要

1. 東日本大震災復興特別会計の設置目的
東日本大震災からの復興に係る国の資金の流れの透明化を図るとともに復興債の償還を適切に管理するため、復興事業に関する経理を明確にすることを目的とする。

2. 東日本大震災復興特別会計の業務内容

- ①災害救助等関係事業
- ②災害廃棄物処理事業
- ③復興関係公共事業等
- ④災害関連融資関係事業
- ⑤地方交付税交付金
- ⑥東日本大震災復興交付金事業
- ⑦原子力災害復興関係事業
- ⑧その他

3. 定員数 1,047人

4. 主な資金の流れ

一般会計から受入
 国債整理基金特別会計へ繰入
 復興債の償還金、利子等の繰入
 交付税及び譲与税配付金特別会計への繰入
 復興費用の繰入
 独立行政法人及び政府関係機関等
 復興事業に係る出資金及び補助金等の支出

5. 歳入歳出決算の概要

収納済歳入額: 25,322億円
 支出済歳出額: 18,680億円
 剰余金: 6,642億円

業務費用計算書 (単位:十億円)

	前年度	30年度	増減
人件費等	9	9	△0
補助金等	954	763	△190
委託費等	26	29	2
独立行政法人運営費交付金	6	6	△0
交付税及び譲与税配付金特別会計への繰入	254	325	70
装備品等購入費	0	-	△0
修理費等	9	0	△8
庁費等	489	328	△160
公債事務取扱費	10	0	△9
その他の経費	33	17	△16
減価償却費	7	7	△0
貸倒引当金等繰入額	0	0	0
支払利息	1	△2	△4
資産処分損益	0	0	△0
出資金評価損	-	6	6
本年度業務費用合計	1,804	1,492	△312

資産・負債差額増減計算書 (単位:十億円)

	前年度	30年度	増減
前年度末資産・負債差額	△1,627	△2,195	△568
本年度業務費用合計(A)	△1,804	△1,492	312
財源合計(B)	1,788	1,864	75
目的税等収入	396	417	20
無償所管換等	△389	△321	68
資産評価差額等	315	52	△262
その他資産・負債差額の増減	△479	-	479
本年度末資産・負債差額	△2,195	△2,091	104
(参考) (A)+(B)	△15	372	387

区分別収支計算書 (単位:十億円)

	前年度	30年度	増減
業務収支	720	732	11
財源	2,846	2,532	△314
業務支出	△2,125	△1,800	325
財務収支	15	△68	△83
公債の発行による収入	76	-	△76
公債の償還による支出	△55	△63	△8
利息の支払額	△5	△4	1
本年度収支(業務収支+財務収支)	735	664	△71
翌年度歳入繰入	735	664	△71
その他歳計外現金・預金本年度末残高	0	0	0
本年度末現金・預金残高	736	664	△71

東日本大震災復興特別会計 平成30年度特別会計連結財務書類の概要

貸借対照表

(単位:十億円)

特別会計連結財務書類について

1. 作成目的
復興特別会計の業務と関連する独立行政法人等を連結した財務状況を開示。

2. 作成方法
「特別会計財務書類の作成基準」に基づき作成(省庁別財務書類と独立行政法人等を合算し、復興特別会計と独立行政法人等の債権債務等を相殺消去)。

3. 連結の範囲等
(連結対象法人)
中間貯蔵・環境安全事業株式会社(中間貯蔵事業勘定)
(連結対象法人と復興特別会計の業務関連性)
出資割合 100%

(連結の基準)
復興特別会計が所掌している業務と関連する事務・事業を行っている独立行政法人等を連結(監督権限及び財政支出の有無により判断)。
(使用財務諸表)
特殊法人等及び認可法人のうち、行政コスト計算書を作成している法人については、民間企業仮定財務諸表でもって連結。

4. 特別会計連結財務書類の留意点
・ 連結に際して、連結対象法人の会計処理を、特別会計財務書類の会計処理に統一していない。
・ 連結対象法人に特有の会計処理については、連結に際して修正を行っている。

	前年度	30年度	差額		前年度	30年度	差額
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
現金・預金	744	676	△67	未払金	7	10	3
未収金	0	0	0	未払費用	1	0	△0
前払金	57	71	14	保管金等	0	0	0
貸付金	35	34	△0	前受金	-	0	0
その他の債権等	2	2	0	賞与引当金	0	0	0
貸倒引当金等	△1	△0	△0	公債	5,526	5,388	△138
有形固定資産	85	46	△38	退職給付引当金	4	4	0
国有財産等(公共用財産除く)	2	2	△0	その他の債務等	0	0	△0
公共用財産	68	36	△32				
物品	17	10	△6				
無形固定資産	1	0	△0				
出資金	742	764	22	負債合計	5,540	5,405	△135
その他の投資等	0	0	0	< 資産・負債差額の部 >			
国債整理基金	1,675	1,714	39	資産・負債差額	△2,195	△2,091	104
資産合計	3,344	3,313	△31	負債及び資産・負債差額合計	3,344	3,313	△31

特別会計財務書類との主な相違

1. 連結貸借対照表
(資産)
出資金…相殺消去 △48 億円

2. 連結業務費用計算書
委託費等…相殺消去 △114 億円

3. 資産・負債差額増減計算書
平成30年度業務費用合計と財源合計との差額(財源超過) 3,722 億円
(左記(A)+(B)により算出)
⇒企業会計の「当期純損失」に相当
独立行政法人等収入…相殺消去 △106 億円

4. 区分別収支計算書
財源
独立行政法人等収入…相殺消去 △114 億円
業務支出
委託費等…相殺消去 △114 億円

業務費用計算書

(単位:十億円)

	前年度	30年度	差額
人件費	10	9	△0
売上原価	5	10	4
補助金等	954	763	△190
委託費等	19	18	△1
独立行政法人運営費交付金	6	6	△0
交付税及び譲与税配付金特別会計への繰入	254	325	70
装備品等購入費	0	-	△0
修理費等	9	0	△8
庁費等	489	328	△160
公債事務取扱費	10	0	△9
その他の経費	34	18	△15
減価償却額	7	7	△0
貸倒引当金等繰入	0	0	0
支払利息	1	△2	△4
出資金評価損	-	6	6
本年度業務費用合計	1,804	1,492	△312

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

	前年度	30年度	差額
前年度末資産・負債差額	△1,627	△2,195	△568
本年度業務費用合計(A)	△1,804	△1,492	312
財源合計(B)	1,788	1,864	75
目的税等収入	396	417	20
無償所管換等	△389	△321	68
資産評価差額	315	52	△262
その他資産・負債差額の増減	△479	12	479
本年度末資産・負債差額	△2,195	△2,091	104
(参考) (A)+(B)	△15	372	387

区分別収支計算書

(単位:十億円)

	前年度	30年度	差額
業務収支	728	743	15
財源	2,851	2,540	△311
業務支出	△2,122	△1,796	326
財務収支	15	△68	△83
公債発行等収入	76	-	△76
公債償還等支出	△55	△63	△8
利息の支払額	△5	△4	1
本年度収支(業務収支+財務収支)	743	675	△68
翌年度歳入繰入	743	675	△68
その他歳計外現金・預金本年度末残高	0	0	0
本年度末現金・預金残高	744	676	△67